|  |  |
| :---: | :---: |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |






8福
内
線事
1
8
8 務
9
福
社
総
務
係



$$
\begin{aligned}
& \text { で } \\
& \text { と } \\
& \text { な } \\
& \vdots \\
& \text { て } \\
& \text { い } \\
& \text { ま } \\
& \text { す } \\
& \text { す } \\
& \text { で } \\
& \text { に } \\
& \text { お }
\end{aligned}
$$

$$
\begin{aligned}
& \text { で } \\
& \text { か } \\
& \text { け } \\
& \text { 券 } \\
& \text { な } \\
& \text { お } \\
& \text { 持 } \\
& \text { ち } \\
& \text { ま } \\
& \text { 人 } \\
& \text { は } \\
& \text { 申 } \\
& \text { 請 } \\
& \text { お }
\end{aligned}
$$

## 【宓眇岍】



©済
み
で
な
$い$
人
は
分
長
寿
介

 ま
す
の
で
保
謢
等
ご
ご
場



 を
11
月
に
送
し
ま
す。
該
当
者 ※
該
当
に
は
案
信
状
書




【梵步】

【四留】


公と
開し
すて，
る
も現
の状
での
す。
。ま
こ 短
の期
機間
用開家
策い住
なた宅
どし主
のま屋
青する
報次
汉今
集回と
をは
的活公
 しと
て
登
録
さ
れ
た
旧
旧
醫


こて
の
期
間
に
併
せ
て
松
浦




長
崎
県
文
化
庁
定
定

いがサの $※$

|  |  |
| :---: | :---: |
| 文松是 | 出提 |
| 化浦出 | 部出 |
| 財市先 | 数書 |
| 係教 | は 類 |
| ま 育 | ¢ |
| で委 | 正 |
| 員 | 熍 |
| 全 |  |
| 会 | 各 |
| 文 | 1 面 |
| 化 | 部類 |
| 財 | での |

添
地書
書
類





|  の区笗ーヘー |
| :---: |








明
会
を
次
の
と
う
り
平
戸
税

末当
調者市
整を的
や対事
支象業
侗に所
調平
書成給
29 与
給年事
分務
支年担

申込 ※ がす座る ※らい ※請む固必場振種すのる納 が場定要合替目で納人税必合資ではにのに産す。しほ口を組ま

| で納税 | 追たか座垿引で |
| :---: | :---: |
| す。税の | 加いに振願き納 |
| 義振 | の種 「替い続付 |
| 務替 | 申目新にしきを |
| 者を | しをたしす組さ |
| 毎申 | 込増にて ${ }^{\text {a }}$ 合れ |
| に | みや口い か |







## 平成 29 年度松浦市人権講演会

総務課家内線 321
講演：
「生きている」幸せを感じて ～奇跡の生命と共に生きた8年8ヶ月～

## 講師：

道志 䝿貫戸さん （前熊本市人権教育講師，
ナレーター・元フリーアナウンサー）

掛応す署場に点すにのつ
ませまお合万 またまよにがめを日 し損たびは一ま徹ご響がる う。害。保重へ急事ようじ連に故う。 の等絡所が加流が管発入出必の生 をに要消し心対で防た

生 よ 河 故 農
油し り川が業近
出い作水次施事ます物


## （Gス路NNM <br> 露 農 内林 楾課 2 農 3 林 振 興 係


 わ
れ
る
行
為
や
事
故
は
最見
荅た

分
の
存
在
を
周
囲
に
知
世
せ
る
よ り
ラ
ジ
オ
を
流
た
た
し
自 は
な
る
べ
く
首
立
服
装
し
た山
林
や
男
畑
で
作
業
を
す
る
際
に絾使
期
間
中
に
山野
を
歩
た
た




限
こ
て シ
は
3
3
月
15
日 シ
日
ま の
で捕
は
獲


## 問



